

### (3)新宮市立緑丘中学校の取組

森浦 展行 (新宮市立緑丘中学校 教諭)

2. 緑丘中学校は生徒数 243 名で、地域では一番人数の多い学校です。
3. 2014 年度の防災年間計画の取り組みの流れを示したものです。
4. 緑丘中学校では、2014 年度から、防災教育を本当に真剣にやろうということになりました。防災学習を通して「人の生き方・在り方を考察できる生徒になってもらいたい」と思い、それまであった人権部会を、人権防災部会に名前ごと変えて、活動していくことになりました。何年間か防災の担当をやらせてもらっているうちに、年々小学校からあがってくる生徒たちがいろんなことを知ったうえで入学してくるようになりました。小学校の先生方から大切なことを学んでいるのだなと思うとともに、小学校の焼き回しばかりでは、中学校の教員として申し訳ないと思い、何か子どもたちに本当の知識を学んでもらいたいということがありました。防災学習を通して、人としての在り方や生き方、命の大切さ、そして生きていくうえで何かで役立つようにしていきたいという思いを持って取り組んでいます。
5. 1 年生では「自ら学ぶ力」、2 年生では「自ら行動する力」、3 年生では「自ら貢献する力」を身につけさせていきたいなど目標を作りました。年間 10 時間程度を目標に、4 月に人権防災部会で各学年ではこういう授業をしようとして設定させていただきました。教師が変わったり、生徒が変わったり、色々体制が変わる中で、せっかくある教員が持っている防災のネタであったり、授業案であったりしたものを「どうやって次の年に伝えていくか」ということを今年は考えました。一つはフローチャートで、前年度の取り組みがどうであったかということを残していくということです。パソコン上や、学校に置く防災用の大きなファイルをつくり、そこに置いておきます。また、課題をパソコン上に置いておき、次の年度の目標に使っていただけるようにしていきたいと考えました。それから授業で学んだことや、今回の会議の皆様の実践の発表資料などをそのファイルに入れさせていただき、すべての教員が共有できるようにし、次の年、もし大幅に教師が変わったときにでも使っ



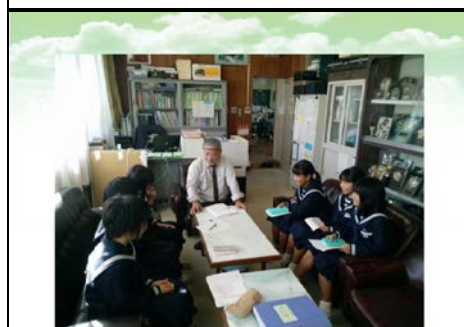
小学校でたくさんの大切な知識を学んだうえで入学してくる生徒に何を伝えるか？

防災学習を通して、人としての在り方や生き方、命の大切さを学ばせたい。また、生きていくうえで役立つ知識になるように。

4



9



10

生徒の様子について  
防災学習を通して学んだこと。

小さい子やお年寄り避難所まで連れていくこと  
**自分の命を最優先する。無理に助けにいかない。**  
応急処置。  
非常食、ライフライン。  
**中学生が中心となって動かなければならないこと。**  
非常食を常に用意しておくこと。  
高いところへ逃げる。  
**命の大切さ。**  
1日1日を精一杯生きること。  
救急カセットや防災食の使い方など。  
**想定にとらわれない。**  
自分たちで判断して素早く逃げる。また落ち着いて行動する。  
協力し合うこと。  
生きるために、水・電気・食糧などが必要だということ。  
家族との集合場所を決めておくこと。  
**率先して避難すること。**  
命がもっとも大切であること。まず自分の命。  
日頃から災害に備えておくこと。

13

ていただけるようにしました。

- 8.今年度は、1年生では、和歌山県で有名な稲村の火というお話を、子どもたちにもう一度勉強してもらったり、日本赤十字の方を招いて講話していただいたり、防災食を実際に炊き出ししたりしました。2年生では、家庭内防災を考えるということや、減災のこと、持ち出し袋を考えるという授業につながっていきました。3年生では、貢献することを少し考えていますので、地域住民支援であったり、中学生としてできることを子どもたちからグループディスカッションを通して発表してもらったりしました。
- 9.日本赤十字の方に来てもらったときの様子です。担架の使い方や、火山の噴火のニュースが出ていたときなので、そういったことについても新しい情報を教えていただきました。
- 10.写真の真ん中に座っているのは緑丘中学校の清水校長先生です。台風12号の紀伊半島大水害のお話や、そのときに赴任先の生徒が亡くなったときの話から、緑丘中学校でも何かがあったときにどうしても命を守りたいんだという思いを伝えていただきました。写真の生徒たちは1年生で、防災学習班として、文化祭の発表に向けて防災のことを調べてくれる子たちです。校長先生にいろいろ質問をしているところです。
- 11.新宮管工事組合の方々にもインタビューをしに行き、いろいろなことを教えていただきました。以前から、いつかこの新宮市にも災害が起こったときに、何か市民の方の助けになりたい、ということで海拔表示の看板を自分たちで作ったりして、いち早く市民に啓発して下さっていたりした思いなどを聞いたりして学びました。
- 12.1年生全員で防災食の炊き出しをやらせていただいた時の写真です。
- 13.生徒に防災学習アンケートを実施しました。今年1年間の振り返りとして、子どもたちがやったこと、その中で印象に残ったこと、学んだ内容で自分として大切にしていること、これから防災学習で学びたいことを書いてもらいました。防災学習で学んだことについては、嬉しかったのが「命の大切さを学んだ」、「まずは自分の命を救う」、「協力し合う」ということを自分たちから出してくれました。また、「中学生が中心となって動くんだ」というようなことを言っている子や「一日一日を精一杯生きていくんだ」という子もいました。この子は、「亡くなった人の分まで生きて、自分たちが幸せに生きていくことが大事だ」という思いを持って書いてくれたそうです。
- 14-15.これから学んでみたいことについては、「大人がいないときどうするのか」、「避難訓練で屋上に行っているけれど、そのとき火災が起きたら上にいた場合どうするのか」など、自分たちなりに色々なことを言ってくれています。「防災学習をもっともっと学んでみたい」と言ってくれる子、「防災学習が違うところで役立った」という子もいます。本当に緑丘中学校では、「防災学習が活性化してくれているな」と思っています。私たちの思っている以上に子どもたちも真剣に取り組んでくれて、子どもたちのやれることでやってくれることで驚かせていただいています。子どもの変化としては、すごく一生懸命やってくれています。教員にとっても、人権学習の教材にも使えるんだなということなど、色々なことの意識の変化が少しずつ感じられるようになってきています。